

読響

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

まるでロック・スター!
ロングヘアを振り乱し、驚異の技巧を披露

ネマニャ・ラドウロヴィチ

ヴァイオリン

Violin= NEMANJA RADULOVIC

マーラー:花の章

MAHLER: Blumine

ハチャトゥリアン:ヴァイオリン協奏曲 二短調

KHACHATURIAN: Violin Concerto in D minor

マーラー:交響曲第1番 二長調 「巨人」

MAHLER: Symphony No. 1 in D major "Titan"

ほとばしるパッション
興奮は最高潮へ!

欧州で活躍する俊英が、
熱いタクトで魅了!

山田和樹

首席客演指揮者

Conductor= KAZUKI YAMADA

ヤマカズの 〈巨人〉

金管楽器が咆哮する
迫力のクライマックス!
読響との初マーラー作品で
新たな伝説をつくる。

読売日本交響楽団 第224回 土曜マチネーシリーズ

2020 **2.1** 土 14:00

S SOLD OUT **A** SOLD OUT **B** ¥4,600 **C** ¥4,100

Saturday Matinée Series No. 224 Sat. 1st Feb. 2020, 14:00

読売日本交響楽団 第224回 日曜マチネーシリーズ

2020 **2.2** 日 14:00

S SOLD OUT **A** SOLD OUT **B** ¥4,600 **C** ¥4,100

Sunday Matinée Series, No. 224 Sun. 2nd Feb. 2019, 14:00

東京芸術劇場コンサートホール
Tokyo Metropolitan Theatre

読響チケットセンター 0570-00-4390
10時-18時・年中無休(12/27-1/3を除く)

<https://yomikyo.or.jp/>

主催: 読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団
共催: 公益財団法人東京都歴史文化財団 東京芸術劇場
助成: 文部科学省 文化庁文化芸術振興費補助金(舞台芸術創造活動活性化事業)
独立行政法人日本芸術文化振興会

©読響

ヤマカズ×ネマニャ ほとばしるエネルギー

山田和樹の躍進には目を見張るものがある。モンテカルロ・フィルの芸術監督兼音楽監督とバーミンガム市響の首席客演指揮者を務め、ベルリン放送響、フランクフルト放送響、パリ管など名だたる楽団に次々と客演。2018年にはモンテカルロ歌劇場で〈サムソンとデリラ〉を指揮して好評を博すなど、オペラでも注目を浴びている。世界的マエストロへの階段を駆け上がっている日本のエースは、読響とも数々の名演を生み出してきた。「共演を重ねるたびに充実度を増している」と評され、山田自身も読響との演奏に「怖さを感じるほどの手ごたえ」があったという。蜜月関係にあるコンビが今回、マーラー作品に初挑戦する。

19世紀末、成熟したウィーン文化が生んだ作曲家マーラーは、28歳のときに交響曲第1番「巨人」を完成させた。この曲には「青春」の感情が詰め込まれている。それは、新しい世界への期待とためらいや、憧れと挫折の苦しみ、舞い上がっては絶望する、初恋を巡る心の機微のようなもの。悩みながらも進み続ける、力強いエネルギーを感じるのも「巨人」の魅力の一つである。山田のタクトは若き日のマーラーが込めた喜怒哀楽をドラマティックに描き分け、金管楽器が咆哮する興奮クライマックスを築くだろう。なお、1曲目の「花の章」はもともと「巨人」の第2楽章として構想されていたもの。トランペットによる可憐なメロディをご堪能いただきたい。

加えて楽しみなのは、鬼才ネマニャ・ラドゥロヴィチが共演するハチャトゥリアンのヴァイオリン協奏曲だ。奇抜なファッションに身を包み、ロングヘアを振り乱しながらヴァイオリンを弾く様はまるでロック・スター！大きな身振りから繰り出される、生命力あふれる演奏で、世界中の聴衆を虜にしている。アルメニア民謡を取り入れた濃厚なメロディを情熱的に奏で、驚異の超絶技巧を披露して会場を沸かせるはずだ。

ほとばしるエネルギーがぶつかり合い、どんな化学反応が起こるのか、ご期待いただきたい。



山田和樹 首席客演指揮者
KAZUKI YAMADA, Conductor

国際的に活躍する日本のエース。2018年4月より読響首席客演指揮者を務める。1979年、神奈川県生まれ。東京芸術大学指揮科卒業。松尾真子、小林研一郎の両氏に師事。2009年、プザンソ国際指揮者コンクールで優勝。BBC響を指揮して欧州デビュー、M.ブラッソンの代役でパリ管を指揮して絶賛された。ベルリン放送響、サンクトペテルブルク・フィル、フランクフルト放送響、フィルハーモニア管、ドレスデン・フィル、チェコ・フィルなどへ客演。17年にはコーミッシュ・オーパーにデビューを果たし、好評を博した。スイス・ロマン管首席客演指揮者を経て、現在はバーミンガム市響の首席客演指揮者、モンテカルロ・フィルの芸術監督兼音楽監督、東京混声合唱団音楽監督兼理事長の任にある。ベルリン在住。



©Charlotte Abramow / DG

ネマニャ・ラドゥロヴィチ ヴァイオリン
NEMANJA RADULOVIĆ, Violin

ロングヘアを振り乱し、熱い演奏で聴衆の心をつかむ“新時代の革命児”。類まれなるヴィルトゥオーゾで世界的な注目を浴びている。1985年、セルビア生まれ。ハノーファー国際コンクール優勝をはじめ、数々のコンクールで入賞。これまでにミュンヘン・フィル、ドレスデン国立歌劇場管、ベルリン・ドイツ響、フランス国立放送フィル、モントリオール響、ケルン放送響などと共演。カーネギーホール、ベルリン・フィルハーモニー、アムステルダム・コンセルトヘボウなど世界の著名ホールでリサイタルし、いずれも高い評価を得ており、2015年にはドイツの権威あるエコー・クラシック賞を受賞した。録音は、グラモフォンからハチャトゥリアンのヴァイオリン協奏曲を収録した『ハイカ』などをリリースしている。

©Zuzanna Special

読売日本交響楽団 第224回 土曜マチネーシリーズ

2020年2月1日(土) 14時開演
S ~~10,000~~ / A ~~8,000~~ / B ¥4,600 / C ¥4,100

読売日本交響楽団 第224回 日曜マチネーシリーズ

2020年2月2日(日) 14時開演
S ~~10,000~~ / A ~~8,000~~ / B ¥4,600 / C ¥4,100

東京芸術劇場コンサートホール

東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111

●JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分
(※駅地下通路2b出口と直結しています)

【託児サービス】東京芸術劇場には一時託児施設があります(公演1週間前までに予約)。わらべうた0120-415-306(予約受付:平日9時-17時) 【学生券】学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます(要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。 ■都合により曲目、出演者等が一部変更される場合もございます。あらかじめご了承ください。 ■未就学児のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時-18時・年中無休(12/27-1/3を除く)

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料

プレイガイド

チケットぴあ 0570-02-9999

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296